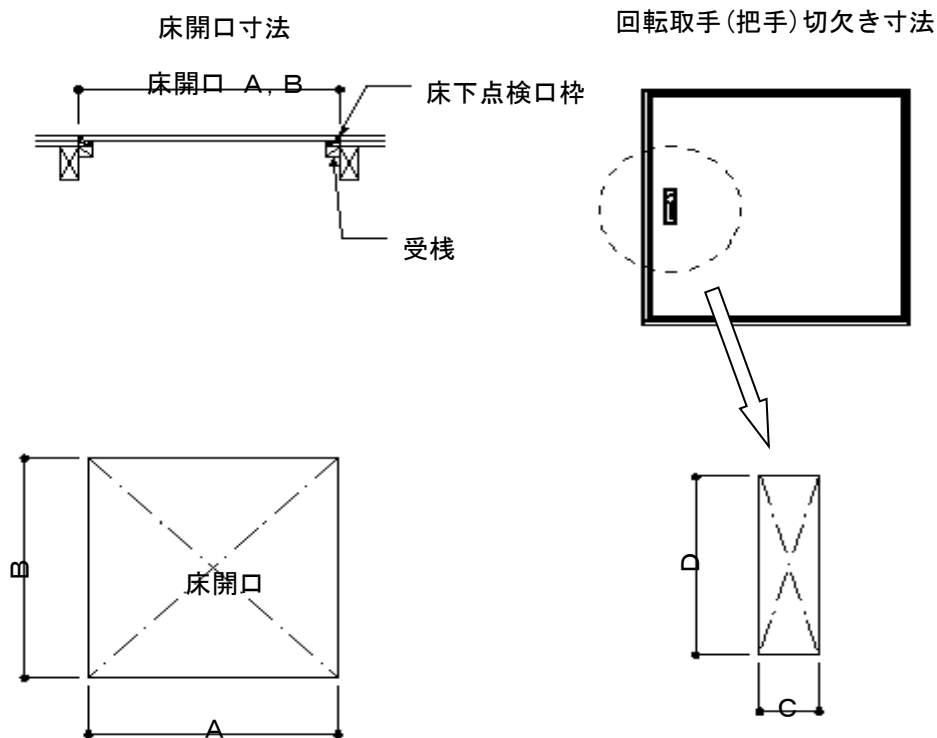


1. 対象製品
内部床下点検口

略称：CJK 点検口

2. 標準(共通)化の部位

内部床下点検口の交換を可能とする為に守らなくてはならない部位を図1に示す。



- A : 床開口寸法幅
- B : 床開口寸法長さ
- C : 回転取手(把手)切欠き幅
- D : 回転取手(把手)切欠き長さ

図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

内部床下点検口の床開口、内部床下点検口の回転取手(把手)切欠きの標準寸法を表1、表2に示す。

CJK 点検口はこの寸法に納まることとする。

表1－床開口の標準寸法

単位：mm

項目	寸法	
	タイプ	
A : 床開口寸法幅	450	606
B : 床開口寸法長さ	450	606

表2－把手切欠きの標準寸法

単位：mm

項目	寸法
C : 回転取手(把手)切欠き幅	23
D : 回転取手(把手)切欠き長さ	91

4. 表示方法

印刷物・電子媒体などに、該当商品が長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

床開口内側等に設置する受棧は床下点検口交換時に床下点検口枠と合せて交換とする。

6. 解説

床下点検口枠は各メーカーにより納まり形状が異なる為、受棧と枠をセット運用とした。

7. 共通事項

7.1 寸法について

- ・寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

- ・交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。
※専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

8. 改訂履歴

8.1 2014年3月20日改訂

- ・”7. 共通事項”を基準書記載内容改訂により記載
- ・符号、書式の統一

8.2 2016年4月28日改訂

- ・対象製品名称、略称見直しによる改訂
- ・7.1寸法について記載内容改訂